

会議報告書

令和3年5月16日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

(1) 概要

議 題	「(仮称) 峰高エリア 100」整備の WS 開催に関するルーツスタッフとの面談協議
日 時	令和3年5月12日 午後2時～午後3時30分
場 所	ルーツ (京丹後市未来チャレンジ交流センター)
出席者	石嶋・田崎・川淵・稲本・能勢・小林・坂田・大垣

(2) 会議内容

- ・生徒とのオープンチャットの運営について
- ・今後の役割分担について
- ・高校の松下事務長との面談結果について報告

(3) 意見交換内容

- 事業部会として、松下事務長との面談協議の報告から
 - ・生徒参加の行事にコロナ禍の中での対応や学校生活を考慮して、学校として事前の日程把握と目途として7月末までとしていただきたい
 - ・府教育委員会の担当と寄付内容について、内装など改修工事は承認不可。エアコン設置や照明変更は事前に設置場所や機器などの事前協議が必要だが可能
 - ・机・椅子の設置など物品による模様替えとしていただきたい
 - ・今後とも記念事業部会としての位置づけを基本に ROOTS スタッフとの関係性を持ってほしい
- 高校生が 15 人程自主的に集まってくれた。対面の WS はコロナ禍の中で困難であるので、関係者全員でオープンチャット方式での協議を進めたい。
- 生徒へのチャット登録が済み次第関係者への登録などを勧める
- 生徒との協議や部会での協議に、現状でパース画が書けないか
- 家庭経営室の学校授業で活用しているパース画があると具体的なイメージを持てる
- 現状では高校生の運営手法と関連してパース画を提示する先入観が生まれる
- 能勢さんの学校での活動が生徒にとっては有意義なものとなっている
- 整備ハード部門と運営ソフト部門に分かれた検討など、7月には整備企画に目途を
- 9月末には納入物品など予算枠などについて教育委員会との調整を予定したい
- 11月には最終決定をして設計等を行う
- 生徒にとっての自主的な運営をしてもらえるように、記念事業部会としては整備が終わりではなく始まりだと思っているので、生徒の自主参加による検討に期待したい。
- 5月末から6月上旬には生徒へのチャット登録及びオリエンテーションを行うので、関係者へもチャットの登録を案内する
- 具体的なイメージを引き出す手段としてパース画も必要であるが、他高校での事例など物品設置による雰囲気などがあれば活用も
- チャット協議に学校の先生や事務長さんにも参加もらえることができれば幸いでは・・・

※学校の窓口の井上先生を通して、松下事務長へ記念事業部会の協議内容等の情報共有をおこなうことを確認 (ROOTS スタッフとの動きなど記念事業部会との関係性持たせること)

※1月の部会で同窓会が記念事業として「生徒へやってやりたいこと・こうありき」などの意気込みを箇条書きにした資料が生徒へのアピール (生徒が自主性を持って様々なエリアについてアイデアを出す安心感につながる) となることから、部会員の思いを引き出すこととする。

(4) 備考